

令和8年度

各教科年間指導評価計画資料

府中市立府中第六中学校

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 国語科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	(詩)見えないだけ 広がる学びへ (小説)アイスプラネット/意見を聞き、整理して検討する/魅力的な提案をしよう/漢字に親しもう1/文法への扉1	43 書写 8
5	広がる学びへ (古文)枕草子 多様な視点から (報告)クマゼミ増加の原因を探る/情報整理のレッスン 思考の視覚化/情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る/漢字1 熟語の構成/漢字に親しもう2	
6	言葉と向き合う 短歌に親しむ/短歌を味わう/(随筆)言葉の力/語彙を豊かに/言葉1 類義語・対義語・多義語/(書写1) 行書で書こう	
7	情報×SDGs メディアの特徴を生かして情報を集めよう/デジタル市民として生きる いつも本はそばに 読書を楽しむ/翻訳作品を比べよう/読書コラム/読書案内	
9	人間のきずな (小説)ヒューマノイド/(随筆)字のない葉書/聞き上手になろう/表現を工夫して書こう/(推敲) 表現の効果を考える/言葉2 敬語/漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字/漢字に親しもう3	50 書写 9
10	論理を捉えて (論説)モアイは語る/思考のレッスン1/適切な根拠を選んで書こう/(詩)「月夜の浜辺」(書写2) 行書と仮名を調和させて書いてみよう	
11	いにしえのころを訪ねる (古文)源氏と平家/「平家物語」 扇の的 (古文)「徒然草」仁和寺にある法師/漢詩の風景	
12	価値を語る (評論)君は「最後の晩餐」を知っているか/「最後の晩餐」の新しさ/思考のレッスン2 具体と抽象/立場を尊重して話し合おう/漢字に親しもう4/文法への扉2	
1	いつも本はそばに(読書)「自分らしさ」を認め合う社会へ/父と話せば/六千回のトライの先に	20 書写 3
2	表現を見つめる (小説)走れメロス/漢字に親しもう5/文法の扉3/構成や展開を工夫して書こう/言葉3話し言葉と書き言葉/漢字3送り仮名/国語の学びを振り返ろう/(書写4)学習活動や日常生活に生かして書こう	
3	(詩)鍵 振り返り 学習を振り返ろう	
年間時数		

2. 2学年国語科の目標

(1)	(2)	(3)
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使用している。
評 価 方 法	・定期テスト (漢字・古文・文法) ・休み明けテスト ・語彙関連テスト (漢字小テスト・文法テスト) ・授業内の取り組み (ワークシートなど)	・定期テスト(読む・書く) ・(聞き取り・記述等)領域小テスト ・スピーチ、発表など ・意見文・レポートなどの作成 ・授業内の取り組み (ワークシートなど)	・振り返りシートの記入 ・ノートやワークシートの記入状況 ・その他の提出物 ・授業観察 (学習課題に対して積極的に進んで取り組もうとしたり、粘り強く課題解決に取り組もうとする態度)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 社会科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節		時数
4	地理	歴史 第3章 中世の日本	9
5	3部1章 地域調査の手法 (5)	1節 武士の政権の成立 (4)	12
6	3部2章 日本の地域的特色 (10)	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 (8)	12
7		第4章 近世の日本 (前半)	6
8		1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 (6)	
9		2節 江戸時代の成立と対外政策の変化 (6)	
10	3部3章 日本の諸地域	第4章 近世の日本 (後半)	12
11	5節 関東地方 (5)	3節 産業の発達と幕府政治の推移 (8)	
12	3節 近畿地方 (5)		12
1	4節 中部地方 (5)		12
2	2節 中国・四国地方 (5)		6
3	1節 九州地方 (5)		
4	6節 東北地方 (5)		
5	7節 北海道地方 (5)		
6		第5章 開国と近代日本の歩み	6
7		1節 欧米における近代化の進展 (6)	12
8		2節 欧米の進出と日本の開国 (6)	6
9	4部 地域の在り方 (3)	3節 明治維新 (8)	
年間時数			105

2. 2学年社会科の目標

	(1)	(2)	(3)
地理的分野	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
歴史的分野	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(地理的の分野の趣旨)	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
(歴史的分野の趣旨)	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価方法	授業観察 提出物 小テスト 定期考査	授業観察 提出物 小テスト 定期考査	授業観察 提出物 小テスト
割合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 数学科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名		時数
4	第1章 式の計算	1節 式の計算	18
5		2節 文字式の利用	
6	第2章 連立方程式	1節 連立方程式とその解き方	14
7		2節 連立方程式の利用	
9	第3章 1次関数	1節 1次関数	21
10		2節 1次関数の性質と調べ方	
		3節 2元1次方程式と1次関数	17
		4節 1次関数の利用	
11	第4章 平行と合同	1節 説明のしくみ	21
12		2節 平行線と角	
		3節 合同な図形	9
1	第5章 三角形と四角形	1節 三角形	5
2		2節 平行四辺形	
3	第6章 確率	1節 確率	105
		2節 確率による説明	
	第7章 データの比較	1節 四分位範囲と箱ひげ図	
年間時数			

2. 2学年数学科の目標

(1)	(2)	(3)
文字を用いた式と連立二元一次方程式, 平面図形と数学的な推論, 一次関数, データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数値化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力, 数学的な推論の過程に着目し, 図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, その特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 複数の集団のデータの分布に着目し, その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり, 不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。また、数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付けている。	数学を活用して、論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだして統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや良さを実感して粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・単元テスト ・小テスト(知識技能) ・発問に対する応答内容	・定期テスト ・単元テスト ・小テスト(思考判断表現) ・発問に対する応答内容	・問題(問題集)への取り組み ・授業理解とまとめ(レポート) ・発問に対する応答内容 ・ノートなどの内容 ・自己評価の内容 ・小テスト(主体的な取り組み)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 理科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名		時数
4	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質どうしの化学変化	単元3 1章 気象の観測	12
5	単元1 化学変化と原子・分子 2章 物質どうしの化学変化 3章 酸素が関わる化学変化		12
6	単元1 化学変化と原子・分子 4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用		16
7	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 1章 生物と細胞 2章 植物のからだのつくりとはたらき	単元3 2章 雲のでき方と前線	8
9	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 2章 植物のからだのつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき		12
10	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき 4章 刺激と反応		16
11	単元4 電気の世界 1章 静電気と電流		16
12	単元4 電気の世界 2章 電流の性質	単元3 3章 大気の動きと日本の天気	12
1	単元4 電気の世界 3章 電流と磁界		12
2	単元4 電気の世界 3章 電流と磁界		16
3	電流とその利用 まとめ・章末問題		8
年間時数			140

2. 2学年理科の目標

(1)	(2)	(3)
身近な事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	身近な事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもつ観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	身近な事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	身近な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	身近な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	身近な事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・授業内の成果物	・定期テスト ・小テスト ・理科ノート ・ワーク ・課題	・理科ノート ・振り返り ・テスト直し ・授業内の成果物 ・課題
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 音楽科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	歌声づくり「校歌」「翼をください」	11
5	音楽鑑賞教室に向けて 鑑賞「交響曲第5番ハ短調」	
6	指揮について 合唱コンクール課題曲	
7		
9	合唱コンクール課題曲・自由曲	13
10	鑑賞「フーガト短調」	
11	和楽器 三味線	
12	日本の歌「荒城の月」 イタリア歌曲「サンタルチア」	
1	鑑賞 オペラ「アイダ」	11
2	Lets Create!	
3	式歌「旅立ちの日に」	
年間時数		35

2. 2学年音楽科の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	ワークシート 実技テスト 定期テスト	ワークシート 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み 授業振り返りシート
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 美術科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	錯視・だまし絵を学ぶ(鑑賞) ポップアップゲームボードの制作(デザイン)	15
5	↓	
6		
7		
8		
9	点で描く(絵画)点による明暗表現を学ぶ	10
10	↓	
11		
12		
1		
2	パッケージデザイン(デザイン)用途や目的を考えパッケージを制作しデザインする	9
3	↓	
年間時数		35

2. 2学年美術科の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・作品 ・アイデアスケッチ ・練習作品 ・鑑賞レポート ・定期テスト	・アイデアスケッチ ・練習作品 ・作品(制作途中の採点) ・作品(完成作品の採点) ・定期テスト	・作品 ・アイデアスケッチ ・練習作品 ・鑑賞レポート ・学習に向かう姿勢 (制作途中の採点)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 第2学年 保健体育科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	体育分野:体づくり運動・陸上競技(短距離走・リレー)・ラジオ体操第一 保健分野:体育理論(スポーツの安全な効果・学び方・安全)	体 15
5		保 2
6	体育分野:新体力テスト・陸上競技(短距離走・リレー)・バスケットボール・水泳 保健分野:生活習慣・生活習慣病とその予防・がんとその予防・早期発見と回復	体 20
7		保 3
9	体育分野:水泳・ハンドボール・器械運動(跳び箱)・持久走・バレーボール 保健分野:喫煙と飲酒・薬物乱用・けがの防止と原因	体 26 保 8
10		
11		
12	体育分野:バレーボール柔道・ダンス・サッカー 保健分野:応急手当・心肺蘇生法	体 24 保 7
1		
2		
3		
年間時数		105

2. 第2学年保健体育科の目標

(1)	(2)	(3)
【体育分野】 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 【保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【体育分野】 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【保健分野】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【体育分野】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 【保健分野】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	【体育分野】 各運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義の考え方を理解しているとともに各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防心身の機能の発達と心の健康について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに基本的な技能を身に付けている。	【体育分野】 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	【体育分野】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	○実技テスト ○定期テスト	○実技テスト ○定期テスト ○学習プリント ○課題	○実技テスト ○学習プリント ○課題
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	B生物育成の技術	11
5	B生物育成の技術	
6	B生物育成の技術	
7	B生物育成の技術	
9	Cエネルギー変換の技術	19
10	Cエネルギー変換の技術	
11	Cエネルギー変換の技術	
12	Cエネルギー変換の技術	
1	C エネルギー変換の技術 D 情報の技術	5
2	C エネルギー変換の技術 D 情報の技術	
3	C エネルギー変換の技術 D 情報の技術	
年間時数		35

2. 2学年技術・家庭科(技術分野)の目標

(1)	(2)	(3)
生活や社会で利用されている生物育成の技術やエネルギー変換の技術や情報の技術について、基礎的な理解とそれに係る技能、生活や社会、環境との関わりについて習得する。	生活や社会の中から技術に関わる問題点を見出して課題を設定し、試作等によって具体化し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を育成する。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫しようとする実践的な態度を涵養する。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生活や社会で利用されている生物育成の技術、エネルギー変換の技術について、基礎的な理解とそれに係る技能、生活や社会、環境との関わりについて習得している。	生活や社会の中から技術に関わる問題点を見出して課題を設定し、試作等によって具体化し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切に技術を工夫し、実践しようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・実習、作品製作にかかわる実技	・定期テスト ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・振り返り ・レポート課題
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	食事の役割と食習慣 中学生に必要な栄養	15
5		
6	食品の選択(食中毒) 色々な食品(生鮮食品と加工食品)	
7	日常食の調理(包丁使い)	14
9	献立づくり 日常食の調理(肉を使った料理、魚を使った料理) 食品の選択 行事食	
#		
#		
#	地域の食文化	4
1	持続可能な食生活	
2		
3	布を用いたものの製作	2
年間時数		35

2. 2学年技術・家庭科(家庭分野)の目標

(1)	(2)	(3)
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 方 法	期末考査・実習・実技テスト	ワークシート・課題・ワークシート・課題・話し合い活動の態度□	ワークシート・課題・ワークシート・課題・話し合い活動の態度□
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 2学年 英語科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	オリエンテーション／1年生の復習 Unit1 Hajin's Diary(動詞の過去形、過去進行形、接続詞when)	40
5	Unit2 Basketball Tournament(動名詞、不定詞＜名詞的用法＞)	
6	Unit3 Plans for the Summer(未来形 will, be going to～)	
7	Let's Read 1(長文読解) You Can Do It! 1(「わが町観光プランをおすすめしよう」)	
9	Unit4 Tour in Singapore(There is～. There are～./ SV00)	65
10	Unit5 How do we stay safe?(助動詞must / have to / don't have to/It's ～(for us)to….)	
11	Unit 6 Guide Dogs(不定詞＜形容詞的用法／副詞的用法＞) Let's Read 2(長文読解)	
12	You Can Do It! 2(「誰もが楽しめるイベントを提案しよう」) Unit 7 Working Together(比較級、最上級、同等比較)	
1	Unit 8 Performing a Play(受け身の文、SVOC、want 人 to～) Let's Read 3(長文読解) You Can Do It! 3(「かるたで地域のPRをしよう」)	35
2		
3		
年間時数		140

2. 2学年英語科の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	知識…英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 技能…実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている。	話すこと・書くこと…コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして伝えあったりしている。 聞くこと・読むこと…日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている。	話すこと・書くこと…日常的な話題や社会的な話題などについて、目的や場面、状況などに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしようとしている。 聞くこと・読むこと…コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・リスニングテスト ・単語テスト ・スピーキングテスト ・発表活動(グループ、個人発表等)	・定期テスト ・音読テスト ・スピーキングテスト ・発表活動(グループ、個人発表等) ・単元テスト(リーディング、ライティング)	・スピーキングテスト ・授業中の英語での取り組み ・発表活動(グループ、個人発表等) ・各単元や定期テストの振り返り ・課題や提出物等への取り組み
割 合	3分の1	3分の1	3分の1